



## 主な内容

- P2 平成19年第2回定例会概要
- P4 委員会審議報告
- P8 11人が一般質問
- P19 広報委員会研修報告／韓国求礼郡<sup>く れ ぐん</sup>を訪問
- P20 議員報酬／政務調査実績報告／編集後記



平成19年第2回定例会が5月31日から6月15日までの16日間の日程で開催されました。提案された議案は、専決処分9件（予算8件、条例1件、条例5件、予算2件、人事3件、契約締結3件、その他1件、請願3件、陳情1件、合計27件。それぞれ慎重審議の結果、すべて原案どおり可決。また、決議1件、意見書2件を可決しました。

## 公正、公平、透明な市政の確立をめざして！ 『雲仙市職員の法令遵守の推進等に関する条例』を原案可決

- ① 職員の物件調達問題における不正会計処理により市民から不信感を持たれたことの払拭。
  - ② 先の前長崎市長銃撃事件など、暴力、乱暴な言動等社会常識を逸脱したことによる不当要求行為に対する基本姿勢。
  - ③ 職員の職務において、法令違反等があった場合など、その事実を知り得ることのできる内部の者からの通報により、未然に防止、早期発見すること。
- 以上のことから、職員の法令遵守、不当要求行為等の対策、公益通報制度の導入により、公正、公平、透明な市政の確立をめざし、市民の福祉の増進をはかることを目的に制定。

## 一般会計補正予算総額5,361万7千円を追加計上

主な補正内容は

- ・健康づくり大学ネットワーク事業補助金
- ・文化的景観基礎調査事業
- ・妊婦健康診査事業
- ・農業・食品産業強化対策整備事業交付金事業
- ・選挙執行委託費交付金返還金

などを追加計上し、補正後の予算が257億1,883万3千円となりました。

## 『工事請負契約、備品購入契約』の締結議案を原案可決

- ・千々石浄化センター水処理施設機械設備工事に係る工事請負契約
- ・吾妻愛野学校給食センター厨房機器等購入に係る備品購入契約
- ・消防ポンプ自動車購入に係る備品購入契約

の計3議案を可決しました。

雲仙市では地方自治法に基づき、予定価格1億5千万円以上の工事、または請負契約の締結時、および予定価格2千万円以上の財産の取得または処分時には議会の議決を必要と定めています。

# 暴力行為の根絶に 関する決議

全会一致！

平成19年4月17日、伊藤前長崎市長が選挙期間中に凶弾に倒れ、多くの市民の願いも叶わず、翌日未明に逝去されました。

雲仙市議会では、4月20日の議員全員協議会において伊藤前市長のご冥福をお祈りし、「暴力行為根絶と事件の徹底究明を求める決議」を全会一致で決議しました。さらに定例会開会初日の冒頭に、改めて黙祷を行い、雲仙市民の安全とともに、いかなる暴力も許さない社会環境の醸成に努め、雲仙市民が安心して生活できる社会の実現にさらなる努力を誓い、全会一致で決議しました。



## 市民の声を第一に

### 請願・意見書

「次期定数改善計画の実施を求める意見書の採択に関する請願」および「義務教育国庫負担制の堅持を求める意見書の採択に関する請願」

○請願者……長崎県教職員組合島南総支部長 柴田高則  
請願を採択し、内閣総理大臣ほか3名に意見書を送付しました。

#### 意見書（要旨）

全国的な教育水準の確保や地域の実情に応じた多様な教育が可能となるよう、子どもたちに最善の教育環境を提供していくことを社会的使命と認識し要請する。

「雲仙市国見町土黒川（金山地区）河川護岸改修工事に関する請願」

○請願者……国見町金山地区長 西田勝夫  
請願を採択し、意見書を可決しました。

#### 意見書（要旨）

雲仙市国見町土黒川（金山地区）は、河川氾濫による家屋等への被害が懸念されており、危険な状態にあることから、早期に河川の護岸を改修するよう要望する。



## 総務

**本委員会に付託された専決処分案件2件**  
(条例案件1件、予算案件1件)、条例案件3件、予算案件1件、契約締結案件1件を審議し、すべて全会一致で可決すべきものと決定。

また、陳情1件を継続して調査することを決定。

**平成18年度一般会計補正予算**

**質疑** ●納税奨励金の活用について、市民の納税に対する意識はどうか。  
**答弁** ●納税組合員数の減少、振替納税、徴収率の低下など組合員の顔が見えない面がある。委員会の意見を真摯に受け止めて徴収率アップに努力していきたい。

**質疑** ●ゴルフ場利用税交付金が減額になったのは利用者の過大見積りでは

ないか。

**答弁** ●ゴルフ場の利用者に対する等級変更があり税率が下がったため減額となった。

**職員の法令遵守の推進等に関する条例の制定**

**質疑** ●公益通報制度とは。

**答弁** ●職員の職務に係る違法行為があった場合、早期に発見・是正できるよう、職員からの内部通報を受け付ける制度である。

**質疑** ●この条例が制定された場合、議員活動がどの程度制約を受けるのか。

**答弁** ●正当な議員活動については、これまでと同じである。

**質疑** ●対人関係について、職員の接遇態度についても指導すべきではないか。

**答弁** ●相手はお客様なので、職員の接遇も大切になってくる。本年度、職員研修を予定している。

この条例が、制定された場合、条例の運用については、法令遵守等推進委員会並びに外部委員で構成される雲仙市法令遵守等委員会で、正当な議員活動が阻害されないよう、運用について慎重に対応すべきとの本委員会の総意を付議した。

犯罪のない安全・安心まちづくり推進条例の制定

安全・安心ステーションの設置及び管理に関する条例の制定

**質疑** ●地域活動としてPTAなどが使用する場合減免等はあるのか。

**答弁** ●利用許可の制限はしているが、市長が必要



小浜町旧北野駐在所

と認めた時は減免することができるので、地域安全活動拠点施設として大いに活用してほしい。

**平成19年度一般会計補正予算**

**質疑** ●自主防災組織育成助成事業補助金について、全体を見て整備すべきでは。  
**答弁** ●助成事業については、皆さんの意見等が反映されるような形で周知徹底を図っていきたい。

**質疑** ●債務負担行為の内容について説明を。

**答弁** ●平成24年度までに雲仙市全エリア6カ所の整備をするもので、本年度は親局、全エリアの中心局、小浜町の屋外子局及び戸別受信機を整備し、来年度から愛野、瑞穂、吾妻、国見、千々石の順に防災無線の古い順から整備していく。

本事業は、大事業であるので競争原理の働く慎重な業者選定と入札が行われるよう要望した。

備品購入契約の締結

**質疑** ●市内業者の選定について基本的などのような基準を考えているか。

**答弁** ●入札参加資格者27社から本社または営業所が長崎県にある22社を選定し、その中から市内業者12社の内、同種業務の導入実績及び販売実績を考慮し、6社を選定した。

**質疑** ●入札制度について、本委員会の意見がどこまで報告されるのか。  
**答弁** ●今までは、報告していない。今後、参考意見として指名委員会等にあげていきたい。

陳情第3号「バス停のベンチ移設について」

現地調査の結果、多くの団体からの寄付でベンチが設置されている。高齢者はもとより、一般の方にも多く利用されていることから、ベンチの移設については設置した団体、道路管理者、市及び地元自治会の意向調査などもふまえ協議していく必要がある。また、歩道の整備、バス停車帯の設置も含め総合的に協議する必要があるため、市内の状況を調査し、その対策について引き続き検討していく。

# 常任委員会報告

本委員会に付託された専決処分案件5件（予算案件5件、条例案件1件、予算案件2件、契約締結案件1件）を審議し、すべて可決すべきものと決定。また、請願2件を審議し全会一致で採択すべきものと決定。

## 平成18年度一般会計補正予算

**質疑**●民間保育所保護者負担金の減額理由は。  
**答弁**●すこやか子育て支援事業が当初の見込みより6名多かったことと、保育所入所者数が実数で67名少なかったことによるもの。

**質疑**●人間ドック検診委託料の減額理由は。  
**答弁**●1350名の受診予定に対し、909名の受診で67・3%の受診率であったことによる減額。

## 平成18年度国民健康保険特別会計補正予算

**質疑**●奨励金の減額は交付率が下がったことによるのか。  
**答弁**●合併前旧町のそれぞれの交付率を、平成18年度からは2%に統一した率で交付しているため。

## 平成18年度と畜場特別会計補正予算

**質疑**●使用料、手数料の収入増と、頭数の処理能力の余裕との関連は。  
**答弁**●毎日の予定処理頭数に対し、予定どおり持ち込めない分がある日に余裕が生ずる日がある。

**質疑**●財政調整基金積立金の内容は。  
**答弁**●平成17年度末で1億8千万円あり、平成18年度で約3千万円を積立っている。基金を積立ながら借入金償還等に対応していく。

## 平成18年度温泉浴場事業特別会計補正予算

**質疑**●使用料金の改定について今後検討する考えはないか。

るものか。  
**答弁**●昭和34年から地域に親しまれた浴場でもあり、料金改定は検討していない。

## 平成18年度老人保健特別会計補正予算

地方税法施行令一部改正に伴い、保険税の最高限度額の改正及び適用税率を改正するもの。  
**質疑**●市の国保被保険者世帯の現状は。  
**答弁**●世帯数は増加しているが、被保険者数は減少している。1人当たりの医療費、受診率等が増加しており、70歳から74歳までの前期高齢者が急増している。

## 国民健康保険税条例の一部を改正する条例

**【反対意見】**市民の負担が増えることは大きな問題である。  
**【賛成意見】**生活習慣病予防に重点を置き、特定検診等の計画策定等、医療費と税負担の増高を抑制するための努力をしている。

## 平成19年度一般会計補正予算

**質疑**●妊婦検診委託料の県医師会との委託契約は。  
**答弁**●県内各地で受診できるようにするための委託契約である。

## 平成19年度老人保健特別会計補正予算

## 備品購入契約の締結

吾妻愛野学校給食センター1厨房機器等の購入に係る契約の締結。  
**質疑**●業者の実績を判断する根拠は。  
**答弁**●前2カ年度の納入実績により選定する。

**【反対意見】**落札業者に教育長の家族が勤務しており、入札指名から外すべきと判断する。  
**【賛成意見】**指名から入札執行まで不自然な流れ等はないと判断する。

次期定数改善計画の実施と、義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の採択に関する請願

それぞれ採択し、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣及び文部科学大臣に意見書を提出することを決定した。

## 教育厚生





## 建設

**本委員会に付託された専決処分案件3件（予算案件3件、条例案件1件、契約締結案件1件、その他案件1件）を審議し、すべて全会一致で可決すべきものと決定。**  
また、請願1件を審議し全会一致で採択すべきものと決定。

**平成18年度一般会計補正予算**

**質疑**●市道小浜金浜木場線改良事業の繰越の理由は。

**答弁**●国より昨年11月に早期完成を目指して補助額増の依頼があり、工事の発注が年明けとなったため年度内の完成に至らなかった。

**質疑**●県営愛野一本松地区ふるさと農道緊急整備事業の繰越について、今

年度予算と合わせた金額を執行できるのか。

**答弁**●事業主体が長崎県であり、県が繰越をしたため市も繰越をしている。今後も長崎県と懸命に事業の推進をはかっていきたい。

**質疑**●道路橋りょう維持費公共土木事業補助金の減額について、市民への周知が足りなかったのではないか。

**答弁**●材料費と機械借上料のみの補助であるため、作業人員不足が一つの要因と考えられるが、今後は支所との連携をはかり、制度の周知を十分行っていくきたい。

**平成18年度簡易水道事業特別会計補正予算**

**質疑**●亜硝酸除去装置保守点検委託料について、亜硝酸性窒素の数値の高い地区には、数値の低い

地区から給水をする考えはないか。

**答弁**●高価な処理装置を設置するより、他の地区から給水するという考えも視野に入れている。

**平成18年度下水道事業特別会計補正予算**

**質疑**●下水道事業全体計画策定業務委託料の予算額に対する執行率21%の理由、及び財政計画に沿った計画となっているのか。

**答弁**●金額が抑えられた点は業者の努力によるものであり、特記仕様書通りの計画書が完成し納品されている。各地区の事業実施の時期等、記されてはいるが、財政的に計画書通りの実施は困難であるので、今後財政課と

も慎重に協議を進めながら、下水道整備を推進していきたい。

**市営住宅設置条例の一部を改正する条例**

**質疑**●住宅の家賃はいくらになるのか。また入居者の募集方法はどうするのか。

**答弁**●家賃は現在算定中であり、一般に募集を行う抽選によって決定する。

**雲仙市の区域内にあらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更**

**工事請負契約の締結**



国見町土黒川

**国見町土黒川（金山地区）河川護岸改修工事に関する請願書**

者の長崎県に対し、意見書を提出することに決定した。

国見町金山地区住民から提出された、国見町土黒川護岸改修についての請願に対し、採択すべきものと決定し、河川管理

# 常任委員会報告

**本委員会に付託された専決処分案件2件（予算案件2件、予算案件1件を審議し、すべて全会一致で可決すべきものと決定。**

**平成18年度一般会計補正予算**

**質疑**●農林水産費が多額の減額となっているが、予算計上に問題があるのではないか。

**答弁**●農家や農業団体と十分打ち合わせを行って計上しているが、申請農家や団体の環境等の変化により、減額補正を計上している。

**平成18年度国民宿舎事業特別会計補正予算**

**〔意見〕**

営業費の減額による減

額補正などを計上したものである。他の温泉浴場においても客数が減少している。原因の追求と、どれくらい減少しているのか資料の提出を求める。

**平成19年度一般会計補正予算**

**質疑**●「健康づくり大学」ネットワーク事業を市観光協議会が行うようだが、補助金申請があり、予算計上がされたのか。

**答弁**●この事業は市が事業主体で計画されていたが、市観光協議会の柱の事業として実施するよう変更したため、本来の補助金交付の流れと違った。

**質疑**●市観光協議会へ補助金を交付し、さらにその補助金により民間活力開発機構へ委託する流れになっているが問題があるのではないか、市が事



委員会審議の様様

業主体となり実施すべきではないか。

**答弁**●市観光協議会は雲

仙市の観光事業の中心となる団体であり、協議会の目指すべき方向性と健

## 産業経済

康づくり大学が同じ方向にあると考え計画した。

**質疑**●民間委託ではなく協議会独自のプログラム作成など実施する考えはないのか。

**答弁**●より効果を求めるため専門的知識が必要であり、民間活力開発機構へ委託する計画である。

※本案に対して、次のとおり付帯決議を付することを全会一致で決定。

する講座等を協議会と連携して推進されることが望ましい。

本事業の目的・事業主体を明確にするため、市独自の事業として実施すべきであり、補助金として交付せず、市が事業主体となって実施されるよう強く要望する。

**〔付帯決議 事業内容〕**については委員全員が賛同するものであるが、本来、市が事業主体となり地域振興の事業として取り組むべきであり、補助金として交付することは、不透明な点があり理解しがたい。

市観光協議会の事務局は観光課で行っており、本事業に関連

**質疑**●いちごハウスの建設事業で、補助金の返還の指示があったとのことであるが、会計検査を受けていない農家、団体への補助金の審査はどうなっているのか。

**答弁**●農家などの消費税の取り扱いについては、県と協議し、補助金申請段階で指導していきたい。



# 一般質問

## 11議員が登場



町田 康則 議員  
またた やすのり 小浜町

### 市の農業振興策について

**町田議員** 認定農業者の

基準の緩和について尋ねたい。認定農業者とは、自ら経営改善に取り組むやる気と能力のある農業者が、農業経営改善計画を作成し、その計画を市町村が認定する制度で、今ほとんど農業就業者が減っている、そこを何とかしたいということでは始めた制度である。国は年齢制限も設けていないし、経営規模や所得の小さい農家でも一定の収入が得られる農業経営を目指す場合は、認定の対象となっている。市で決めることができる基準なので、基準を下げて増やすべきではないか。

**奥村市長** 認定申請時の

年齢はおおむね65歳となっており、いくらか幅を持たせている。ただ、5年後の計画案をつくらなければならぬので申請時に65歳でも70歳になることから緩和は厳しい。

**町田議員** 農業就業人口

に占める65歳以上の割合はいくらになっているのか。

**酒井農林水産環境部長**

分からないが、かなりの割合になっているのではないかと思う。

**町田議員** 農業就業人口

に占める65歳以上の割合は60%に増大している。

60%に達しているのでは、年齢を制限していない。また、認定農業者に対する支援措置としては第1に、資金の面で金利や融資率の優遇がある。

第2に、農地の幹旋業者の対象者は認定農業者を優先すること。第3に、農業者年金で保険料が社会保険料控除の対象となる税制面の特例がある。

第4に、予算措置で農業生産基盤、機械設置整備などで認定農業者に施策を重点化している。第5に、機械、施設等の減価償却費が20%割り増し計上できる。以上、認定農業者に対する特典がかなり多い。県の目標では、現在2100名の島原半島の認定農業者を平成22年には2800名にしたことになっている。

**奥村市長** 65歳という年

齢は超えておられても、きちんと今後も農業をやっていききたいという方に対しては、我々も十分にそれに応えるつもりである。

**町田議員** 農業生産物の

販路拡大、並びにふるさとふれあい館、食材館ちぢわんもん等の販売施設の活用について尋ねたい。

**酒井農林水産環境部長**

合併前、各所でそれぞれの方針、考え方でつくられたわけだが、旧町の枠にとらわれることなく商品を出せるように現在協議中である。

**町田議員** 販路拡大で昨

年質問したが、市の会議の時はペットボトルのお茶のかわりにバック入り牛乳を出して消費拡大をお願いしていたが実施状況はどうか。

**酒井農林水産環境部長**

全部ではないが農林水産課の会議の中では使用している。

**町田議員** 雲仙ブランド

の認定を農水産物だけでなく、加工品から工芸品まで広げて認定をすべきだと思いがとうなっているのか。

**奥村市長** 商工製品をブランド認定することはやぶさかではない。現在、商工会に打診し、検討してもらっている。

**町田議員** 小浜、雲仙には「湯せんべい」があるがこれは、明治初年、旧島原藩主松平侯が小浜に滞留中、温泉が体によいことから温泉を冷やして

小麦粉を溶いたせんべいをつくらせたもので、風味よく雲仙・小浜の土産品としてはなくてはならないものとなっている。ぜひこれら加工品も雲仙ブランドとして推し進めてもらいたい。

**東観光商工部長** 商工会の方ともいろいろ協議していきたい。







まちだ まこと

町田 誠 議員

## 自動体外式除細動機（AED）の設置状況は

町田議員

自動体外式除

細動機（AED）の設置状況は大阪岸和田市の高校で野球の試合中打球を胸に受け、心肺停止状態になり、たまたま観戦中の救急救命士が同校に設置してあったAEDを使い蘇生させ、一命をとりとめたことが新聞報道された。雲仙市としても設置について本年度新規事業として予算が計上され、雲仙市社会福祉協議会も8台を購入、各事業所に1台ずつを設置済みである。

奥村市長 AEDは今後計画的に導入する。操作方法についても関係機関にお願いしたい。

## 市の救急医療対策は

町田議員

救急用の専用

ヘリポートを整備する考えはないか。

今年、千々石町の国道で交通事故と思われる重症患者搬送のため、大村市国立病院機構長崎医療センター所属のドクターヘリが出勤要請を受け、千々石町内城山グラウンドに着陸を何回となく試みたが、悪条件が重なり

着陸できず、機長の判断

と思うが近くの橋公園駐

車場に緊急着陸した。駐

車場に車が1台もない

かったこと、また人もい

なかったことが不幸中の

幸いであつた。一刻を争

う尊い人命を救う施設の

充実、また改善は急務で

ある。今後、大規模な地

震発生も視野に緊急医療

または災害時の対策が必

要と思う。ドクターヘリ

は時速220kmで一直線

に目的地の現場に急行し

急患の治療搬送を行い救

急車では救えなかった命

を救うことができる。

奥村市長 まず安心・安

全なまちづくりの観点か

ら救急医療対策は必要。

ドクターヘリの設置の問

題についてはさまざまな

観点から担当部と協議さ

せてほしい。

## 全国育樹祭開催に伴う市の木・市の花の植栽を

町田議員

百花台公園に

市の木・市の花を新たに植栽することはできないか。また考えはないか。

百花台公園は長崎県民

の森として平成2年5月

20日 天皇后両陛下を

お迎えして「豊かな緑あ

ふれる活力」をテーマと

して第41回全国植樹祭に

あわせ、市町村の指定さ

れた43種の木が当時植え

られ、現在では合併も進

み見直し時期ではないか

と思う。当時、天皇后

両陛下をお迎えして植栽

がなされた公園であるこ

とは十分承知しており無

理な話だとは思いますが市

考えは、

次に市の木・市の花の

周知方法は、市が指定し

ている、ヤマボウシは新

緑の山に白い十字架の花

を咲かせ秋には紅葉が美

しい。ミヤマキリシマは

雲仙市を象徴する花、国

の天然記念物に指定され

ているが、今後のPRに

ついては、

奥村市長 施設所有者の

県農林部林務課と協議し

緑化を促進し、育樹祭の

盛り上げにつなげたい。



長崎県ドクターヘリ



なかむら いさお

中村 勲 議員

千々石町

## 緊急用ドクターヘリの着地点の設置について

**中村議員** 本件については、同僚議員の質問に対して答弁があっているの  
で、省略するが、参考ま  
でに、ドクターヘリは、  
国、県の補助金と民間か  
らの寄付金で運営され全  
機が導入されている。

市道改良拡幅工  
事の今後の見通  
しと周辺の整備  
について

**中村議員** 市道千々石龍  
下線は未完成のままであ  
るが、今後の計画はどの  
ようになっているのか。

**島田建設整備部長** 本線  
は、国道に接合する道路  
改良であるので、長崎県  
公安委員会および、国土

交通省九州地方整備局長  
崎河川国土事務所との交  
差点協議の結果、国道に  
右折帯を新設しなければ  
ならないので再度、協議  
を行いながら、最良の方  
法を模索していく。

**中村議員** 某スーパー横  
の市有地は、そのままの  
状態になっているので近  
くの住民からその土地の  
一部を相談したいとの要  
望もあっているが、その  
点について市長の見解を  
聞う。

**塩田総務部長** 申し入れ  
があれば、判断させてほ  
しい。

**中村議員** 地場企業の育  
成について、日本は全体  
的には大手企業が好調で  
好景が続いているよう  
であるが、先般の長崎県  
内の企業業績は、逆にマ  
イナス水準であり、倒産



の原因は景気が低迷する  
中で、資金需要が少ない  
のが要因とされているよ  
うである。昨年1年間の  
信用保証協会の代理弁済  
の1位は、建設業である  
が、雲仙市の発注工事は  
減少しているようである。  
その上、市外の大手企業  
を指名にいれ、競争入札  
をすれば市内の業者は競  
争には負け、工事高はま

すまず減少するが、本社  
は市外にあって本市にあ  
る営業所等の取り扱いを  
どのように判断するのか。  
昨今の商店街は衰退傾  
向にあるが、市の購入物  
品についても、市内外を  
問わず競争入札で決めて  
いるようである。市外の  
大手と、市内の業者との  
競争では太刀打ちできな  
いが、市内の業者の育成

も十分考慮してほしいと  
思うが市長の見解は、

も十分考慮してほしいと  
思うが市長の見解は、

**奥村市長** 地場産業の育  
成や市内企業の活用は極  
めて重要なことだと考え  
ている。公共工事は、国  
において前年度比3・  
5%減という緊縮予算が  
組まれている中、本市も  
厳しい財政状況であるが、  
19年度当初予算で普通建  
設事業費で前年比17%増  
予算にして約6億5千万  
円増の積極予算を編成し、  
地元中小企業の受注機会  
の確保をはかったところ  
である。

**吉田副市長** 雲仙市建設  
工事指名基準に基づき、  
市内業者で施工可能な工  
事については市内業者の  
保護、育成および経営基  
盤の確保の観点から、極  
力市内業者を選定してい  
る。





もりやま しげいち

国見町

**森山 繁一** 議員

## 神代小路地区の整備と 国見繊維跡地の活用について

**森山議員** 神代小路地区

の整備の内容と、18年度において工場を解体。19年度、事務所解体の予定地の面積5135㎡は今後どのように整備、活用を考えて計画されているか。

事業、県の美しいまちづくり推進事業で整備を進める。国見繊維跡地は来訪者の駐車場、各種イベントの開催など、多目的な活動の広場、緑地として整備する計画である。

**森山議員** 東の入口、天神橋は現在、車や人の通行が多い。歩道の新設の考えは、

**東観光商工部長** 平成16年度に策定された保存計画に基づき整備を進めている。伝統的建造物、庭園、生垣等の環境物件は文化庁の保存修理事業。緑地や広場の整備、防災設備、交流施設、道路、水路、住宅の修景の支援は国土交通省の環境整備

判断したい。

**森山議員** 旧神代中学校校舎を利用した歴史民俗資料館、整備の現状は、

**辻教育次長** 鍋島家の所蔵資料目録の作成を進めている。貴重な財産であり、文化振興等のため有効に保存活用したい。資料の総数や規模が未確定であるので、確定した段階で総合的に判断したい。

**森山議員** 同地区の整備を図るための財源措置はどのように考えているか。

**東観光商工部長** 文化庁の保存修理事業は国65%と県15%の補助。国土交通省の環境整備事業は国50%、県17%の補助、県の美しいまちづくり推進事業は県50%補助。起債については基本的には合併特例債を利用したい。

**東観光商工部長** 歴史的風致に調和する欄干の改修を予定。現在、歩道の設置は考えていないが、来訪者の動向を見ながら判断したい。

## 市の歌、踊りにについて

**森山議員** 7つの町を一つにまとめる「7町の和

論」市の歌、踊りを作る考えはないか。

**奥村市長** 合併前の各町にはそれぞれ歌や踊りなどがあり盆踊りや運動会

でも踊られ親しまれていた。市制施行記念事業として五島市、壱岐市が新しく作成、有名なライターの方につけて頂くと、事業費が多くなる。まず7町のそれぞれの歌がある。その7町の歌を持

ち寄って歌合戦でもやってみて、各町眠っている歌、ふるさとの歌、そういったものを掘りおこして披露していただき、市の歌を作る前提としての場をつくることも必要と考える。



**国見町** 国見よいとこ

多比良小唄

**瑞穂町** 千年の湯音頭

**吾妻町** 吾妻踊り

**吾妻町** 吾妻盆踊り

**愛野町** 愛野音頭

**千々石町** 千々石音頭

千々石小唄

千々石は我

郷里

**小浜町** 小浜ブルース

雲仙音頭

おおいでの雲仙

女よい節

**南串山町** 南串山音頭

国崎旅情



大久保信一 議員

おおくぼ しんいち

吾妻町

## 優良和牛育成対策は

**大久保議員** 5年に一度 鳥取県で開催される。の和牛の能力を競う、第9回全国和牛能力共進会が、「和牛再発見 地域で築こう和牛の未来」をテーマに本年10月11日から鳥取県で開催される。また、平成24年には、長崎県において、共進会が開催される。その全国和牛能力共進会への対策と今後の雲仙ブランド牛づくりについて、市としての考えは



共進会

**奥村市長** 平成24年第10回全国和牛能力共進会が、長崎県で開催される。5年後を見据え、長崎和牛雲仙牛の名声を全国にとどろかせる絶好の機会

と考えている。地域における出品対策の策定、組織の設立等、出品対策事業の推進が急務となっている。優良和牛の育成に關しては、長崎県種雄牛の平茂晴・雲仙丸を基幹種雄牛とし、系統や育種化をもとにした優良和牛の導入・保留に対して各種補助事業があり、今後、県南地域和牛改良協議会が出品窓口となるので、連携を図りながら、種々の対策事業に取り組んでいきたいと考えている。

**大久保議員** 今後を見据え県内外の優良種雄牛を活用し、雲仙和牛改良のために保留牛事業助成を一律にできないか。

**酒井農林水産環境部長** 農業パワーアップ対策事業で保留牛事業は、県内5万円、県外3万円と助成をしている。19年度は予算措置をしており、今後、充分に協議し単価に



についても検討をしたいと考えてる。

## 乳牛の受精卵移植への補助の考えは

**大久保議員** 酪農経営の状況は、乳価の低迷、生産調整、飼料、原油等の高騰で大変厳しい。この状況を打開し、経営の安定を図るための受精卵移植事業に対する補助の考えはないか。

**奥村市長** 乳牛の受精卵移植には、酪農経営の厳しい状況の打開策として、黒毛和牛の受精卵を乳牛に移植し、優良和牛の生産で付加価値の高い商品として販売し、所得の向上につなげる方策がある。現在、市ではなんこう受精卵移植研究会、南高西部ET研究会に団体事業費として補助を行っている。酪農家も雲仙市酪農連絡協議会の中で移植事業等への取り組みを検討してほしい。

**農耕用車両は、国道251号線走って右折し干拓地に入る。大変危険であり、国道の交通渋滞も引き起こす、この市道の通行止め解除はできないか。**

## 市道愛野野井沖堤防線の通行止め解除は

**大久保議員** 現在、この市道が通行止めのため、吾妻、愛野町野井地区の

**島田建設整備部長** 本線は、平成2年度に旧愛野町で、コスモス夕陽の散歩道として整備し、この時より通行止めをしていた。しかし要望が強く、車両通行を可能にしたところ、愛野交差点を避ける車両が多く、トラブルが発生した。また、踏切に遮断機が設置されておらず事故が発生し、再度車両通行止めをしている。今後、通行止めを解除となると、遮断機設置が必要となる。安全面を踏まえ検討したい。





なかむら かずあき

南串山町

中村 一明 議員

## 救急医療体制について

**中村議員** 南串山地域に

おける救急車の要請に対し到着までに時間がかかり過ぎる。小浜署に一台の救急車の配置である。小浜町に救急病院がある関係上、病院転送が多く、間に合わない場合、愛野分署からの配車になりがちであるが市長の考えは、

**奥村市長** 小浜署からの

距離が最短で8 kmある。救急出動から現場到着まで約13分の時間を要する。小浜署に1台しかないため出動が重なった場合、愛野署また諫早署より救急車が出動しており、この場合40分以上の時間を要する。一刻を争うよう

な救急事例の発生に対し、迅速に現場へ到着するため救急車両、消防署員の配置が最も効果的ではあるが新たな施設の配備となると車両の配置に合せ、分署庁舎の建設費や署員4名の3交代12名の人件費等相当の負担が予想される。国は人口30万人を一つの目標に市町村消防の広域化を進めており、本市を含む半島も広域消防の再編が必然的に行われるものと思う。指摘の南串山地域においては新たに配置することは現時点では非常に困難である。当該地域の救急業務は地域的に利便性に乏しい状況にあることは十分承知



している。市としては今後、住民皆様の不安を解消し安全安心のまちづくりのため各方面からの調査研究し努力する。

**中村議員** 南島原市には、

口之津、南有馬、有家、布津に救急車が配置されている。雲仙市西部は愛野、小浜と2台であることで南串山に配置されると小浜町飛子大島地区まで5分ぐらいで行ける。ぜひ前向に考えてほしい。

**奥村市長** 30万人体制も

視野に入れながらそのことも含め、それを解消するためどういった形が一番いいか車両の問題、人員配置の問題を含め市民の安心出来ることを第一に考え、指摘のことを含め取り組んでみたいと考えている。



まつお ふみあき

愛野町

**松尾 文昭** 議員

## 消防行政について

**松尾議員** 広域消防の一元化に対する市長の基本的な考え方については、12月に質問した折に、「雲仙市としては、今後策定される県の推進計画の動向を十分に見きわめながら、広域消防の一元化に向けて努力をして行く」とのことであつたが、まだ県の段階においても、構想もできていないようである。市長の所信は、

**奥村市長** 消防の一元化は、雲仙市にとって解決しなければならぬ大きな問題と認識している。現在、県で国が示す基本指針に基づき、推進計

いてはAEDの設置もされ救急の充実をはかることであるが。

**奥村市長** この件についても再編計画とあわせて、今後、一番安心安全なまちづくりのためにはどう配備していけば良いか、その体制づくりのためにはどう配備していけば良いのか、一考をしてみた

## 農業行政について

**松尾議員** 陳早濤干拓における営農支援の具体的な内容について、今後入植増反者の募集が開始さ

れるが、入植増反にしても賃貸料が2万円、管理費が1万円、1区画6町であるなら180万円になる。農業機械にしても大型でないと管理できない。作物にしても、ある程度収益のある物でないと採算がとれないと思うが、どのような営農支援なのか。

**酒井農林水産環境部長**

入植、増反者等に対する支援策については、各種補助事業や、農業資金等について、県のホームページの中で既存の補助事業等が案内されており、さらなる営農支援や支援体制等について、国、県等の関係機関で検討が進

**松尾議員** 農業担い手育成対策の具体的な内容、市としての取り組みについての基本計画は、

**松尾議員** 農業担い手育成対策の具体的な内容、市としての取り組みについての基本計画は、

県から提示をされるものと思つてゐる。



認定農業者の会合

については、基盤整備地区営農強化モデル事業をはじめとし、農地、水、環境保全向上対策事業、中山間地域等直接支払い交付金等を利用しながら、集落営農組織の確保に対する支援を行っている。その他、

- ・新規就農者支援活動
  - ・農業法人の設立支援活動
  - ・女性、高齢農業者育成活動
- などを計画し実施することになっている。



干拓地図面

**酒井農林水産環境部長** 認定農業者の経営改善、能力向上支援活動については、雲仙市担い手育成総合支援協議会の認定農業者支援チームの担当者が各町の協議会活動をサポートする等の人的支援を行っている。集落営農組織確保育成支援活動に





ふくだ だいいち  
**福田 大東** 議員  
小浜町

## 公立新小浜病院の院外処方

**福田議員** 近年、政府・厚生労働省は医薬分業を提唱し、現在、国内の分業率は51%を越え、公立病院ではさらに進んでいるところである。「公立新小浜病院」はいまだに院外処方箋を発行していない。どのような理由によるものか。

**奥村市長** 医薬分業については、口酸っぱく言っている。

ただ、高齢者が多いため、分業には抵抗がある。経営上の問題等もあり、今しばらく推移を見守りたい。

## 環境監視委員の権限と責任

**福田議員** 本市においては、環境保全を目的に環境監視員制度を設置し、6名の環境監視員を任命している。監視員の責任と権限、また苦勞および効果をどのように認識しているか。

**酒井農林水産環境部長** 環境監視員は環境保全条例及び施行規則に基づいて委嘱している。

環境監視員の職務は、同施行規則第4条の規定により、環境を損なう行為等の監視及び通報、公害の発生源及び状況の監視及び通報、そして結果の報告となっている。

具体的には、不法投棄の監視及び通報を基本に、資源ごみ回収日のストッ

クハウスにおける分別収集の監視指導、有用微生物を利用した水の浄化、環境衛生、ごみ減量対策推進、捕獲野犬の運搬など、それぞれの地域事情や支所体制にに応じて地域環境保全に努めていただいている。

責任については監視員であることを示す腕章の着用と使用車両にパトロールのステッカーを張り身分を明らかにしている。非常勤公務員であることから、信用の失墜行為の禁止や職務上の守秘義務がある。

苦勞及び効果については随時、口頭報告と毎月報告書を提出させているので十分把握している。効果は数字での把握は難しいが不法投棄の抑制には相当の効果があっている。

**福田議員** ごみ対策は最終的には人間の環境モラルの問題と思うが、市立小・中学校において環境教育は実施しているか。

**鈴山教育長** 年間指導計画に環境教育を位置づけている学校が、小学校

85・7%、中学校55・6%という中で、ほぼ全校が実施している。

**福田議員** 大人（市民）に対する啓蒙及び指導はどのようにしているのか。

**酒井農林水産環境部長** 十分とはいえないが広報誌とか婦人会にもお世話になり監視員にもPRしてもらっている。

**福田議員** 監視員に頼りすぎて、行政の動きや補助が不足しているように思う。「環境基本計画」の策定の必要を感じるが。

**酒井農林水産環境部長** 環境基本法に基づいて各県段階ではほとんどの県が策定している。なるべく早い時期に策定する。

## 神代小路地区内の県警宿舎について

**福田議員** 「鍋島邸」は2004年長崎県まちづくり景観資産に登録、神代小路地区は2005年

県の美しいまちづくり重点支援地区に認定。さらに同年7月国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受け、

武家屋敷や近代和風建築など保存総数376に上っている。本年7月には国指定重要文化財に指定される予定であるが、この

小路地区に似つかわしくない県警宿舎が存在する。一帯の景観を損ね、全く周囲の景観とマッチしていない。この建物を移転撤去の考えはないか。

**奥村市長** 県の所有であることから、県警と相談していきたい。

**東観光商工部長** 景観上は自然の状態が望ましい事ではあるが、配管については利用者ごとに環境省や文化庁の許可を得て設置し、利用されている。景観に配慮した配管の方法や工法について利用されている方や地域の方の検討、提案により、市としても支援を検討する。

## 雲仙地区温泉配管敷きの景観上の問題は

**福田議員** 雲仙地区では地獄一帯の源泉を利用して各旅館の風呂に給湯し



県警宿舎

ている。源泉からの配管敷きが不規則、不自然であると指摘を受けている場所があるが、周囲とマッチした景観にできないか。

景観上は自然の状態が望ましい事ではあるが、配管については利用者ごとに環境省や文化庁の許可を得て設置し、利用されている。景観に配慮した配管の方法や工法について利用されている方や地域の方の検討、提案により、市としても支援を検討する。



うへだ あつし

上田

篤 議員

瑞穂町

## 「サラ金被害者」 救済は市町村の責務

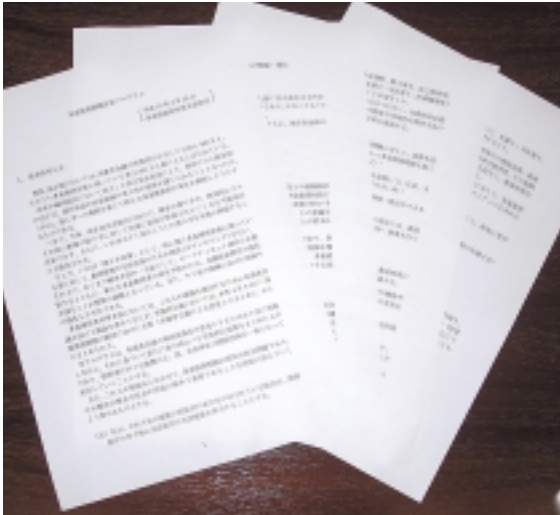
サラ金からの借金に苦しんでいる人が激増。全国のサラ金利用者は1400万人とも言われており、多重債務者も多い。政府は「多重債務問題改善プログラム」を発表し、「多重債務者への対応は自治体みずからの責務との意識を持って、みずから主体的に相談窓口における積極的対応を行うことが望まれる」と強調している。

上田議員 奄美市（鹿児島）

## 上田議員 本市の取り組みはどうなっているか。

井上市民生活部長 多重債務問題は、常時市民課窓口で受け付けている。（担当者は1人）

昨年度は消費生活相談が67件で、うち7件の多重債務の相談があった。弁護士や司法書士などの



金融庁の「多重債務問題改善プログラム」

島恩 この問題の先進自治体である。その報告書には、大事なことは「多くの多重債務者は社会的、経済的環境の悪化による被害者」という認識を持つこととされている。また、債務整理と並行して、生活保護担当者、収納対策室、国民健康保険課、福祉政策課などの関係各課と連携して、債務整理以外の問題も解決するように支援している。そうだと、市民に最も身近な行政主体である市町村での取り組みが市民の大きな力になる、とまとめられている。

ぜひこういうことも学んで、市民を救ってほしい。

## 払えない税金は分納・猶予できる

この6月、住民税、国税、介護保険料など相次いで引き上げられた。市民の暮らしがさらに苦しくなることは必至。

上田議員 国税徴収法、国税通則法などには納税の緩和措置が定められており、これは地方税、国税などでも活用できる。どうしても税金を納められない人には、それも含めてアドバイスをする必要があるのではないかと。

### <納税の緩和措置>

- 納税の猶予（国税通則法46条）
  - ・災害・盗難・病気・不渡りなどの場合
- 換価の猶予（国税徴収法151条）
  - ・滞納処分での換価が制限される。
- 滞納処分の執行停止（国税徴収法153条）
  - ・倒産あるいはそれに近い状態の場合

井上市民生活部長 そういう制度はある。今でも納税相談の中で説明をしている。申し出があれば当然受け付けている。

## 裏金の返還に応じないのはおかしい

この間大きな問題になってきた裏金問題。市長は議会初日に次のような報告をした。

▼不適切な会計処理（裏金）に係る負担の協力（返還）をお願いしたところ、現状は次のようである。

- ・雲仙市三役等4名 100%
- ・旧町三役等37名 76%
- ・旧町管理職50名 26%
- ・現役職員 487名 86%
- 現金の合計額

1187万1955円で、見込み額1200万円の99%。これに対し上田議員は次のような質問を行った。

上田議員 返還見込み額の1200万円というのは、裏金と認定された9000万円の14%でしかないことをはっきりさせておくべきだ。旧町三役や管理職の返還率の低さ

に驚いた。

に驚いた。

吉田副市長 9000万円がすべて被害額ではない。負担金は強制ではなくお願いであって、各々考えがあるのだらう。

上田議員 9000万円はいろいろ言っても裏金であり、不正なんだと市の調査委員会でも指摘された。それを忘れてはいけない。負担金については「負担しないのはおかしい」という意見が市民にも議会にもあることは伝えるべきだ。

吉田副市長 再度、協力をお願いする。

## 過労死などがないように職員の指導援助を

上田議員は職員の労働実態についても聞いた。回答は次のとおり。塩田総務部長：（合併から18年度まで）

- ・早期退職 9名
- ・病気休暇取得者 27名
- （うち休職者2名、精神的疾患7名）





おだ こうめい

**小田 孝明** 議員

国見町

## 雲仙・パークホテルの売却を

**小田議員** 市有財産の建物と土地の活用方針は

**塩田総務部長** 建物の有効利用をはかり、公共的団体や市民に開放したい。

土地は現在調査中で、完了後貸付や売却に努めたい。

**小田議員** 総合支所や別館等、空いておりもったいない。国見町の庁舎別館は雲仙市農業委員会が利用したかどうか。

**小田議員** 今、観光地やリゾート地では有料老人ホーム、分譲マンション

危険だったり、車椅子で乗車できないバス停がある。安心安全のため改良を早急に進めるべきだ。

**島田建設整備部長** 歩道の整備率41%で延長14kmで十分でない。19年度は愛野・吾妻間の歩道設置予定。利用者の安全と渋滞解消のため、歩道ならびにバス停車帯の用地確保と要望活動に努めたい。

**小田議員** 国道389号は大牟田市から多比良港雲仙、天草、鹿児島県阿久根市までの3県架橋のルートである。福岡、大分県から雲仙へと最短コースであるが、国見高校、多比良小学校付近の道路が狭い。育樹祭までに改良できないか。

**小田議員** 公道による売却を実施するよう検討されたい。

## 道路改良の促進を

**小田議員** 国道251号

の歩道整備が島原市より遅れている。またバス停車帯も少なく、利用者が

でない。

**島田建設整備部長** 長崎、諫早方面から田代原キャンプ場、百花台公園、雲仙に至る観光ルートでもあり、未改良部分は道路整備促進期成会と県にさらに要望したい。

**小田議員** 県道210号は江戸時代から島原街道と言われ大切な生活道路であった。魚洗川地区から田代原牧野を経由して千々石の橋神社付近まで8・9kmで千々石、小浜への最短コースで、6・2kmが未改良であり進ん

## 誰のための介護保険か

**小田議員** 市外からのグループホーム入所要件については、

**小川市民福祉部長** 3年間の居住要件の見直しを組合に提案したが、介護保険事業計画期間内は変更しないとのことである。

**小田議員** こんな市・町は長崎県下どこもない。デイサービスについてはどう対処したか。

**小川市民福祉部長** デイサービスの申請があっても指定は困難とのことである。

**宮崎企画課長** 南島原市が単独化に難色を示しており、3市の合意ができてない。

**小田議員** 2/3の賛成ではだめか。単独化のメリット、住民サービスはどうか。

**宮崎企画課長** 市独自の介護サービス事業計画、住民ニーズに的確な対応が可能。介護、医療、保健、福祉の情報共有のメリットがある。

**小田議員** 3市が単独になった場合の介護保険料はどうか。

**小川市民福祉部長** 雲仙市で月2000円、島原市は4000円さがり、南島原市は5000円高くなる試算をしている。(一人当たり)

**小田議員** 合併で3市になり、行政能力も高まり単独化できる。市長の考えは、

**奥村市長** 市民・議会の同意を得るべく努力する。議会の方々にもよろしくお願いしたい。



しばた やすのぶ

愛野町

**柴田 安宣** 議員

## 千鳥川の管理について

**柴田議員** 二級河川千鳥川の河口付近が、諫早湾干拓事業により川底が高くなり、葦や雑草が繁って川の流れが悪くなっている。浚渫（しゅんせつ）整備を諫早湾干拓事務所国土交通省へ要望する考えはないか。

**島田建設整備部長** 現在河川浚渫事業については国の補助事業や起債事業等がなく、目的達成にはなかなか及ばない現状であるため、県、国へ助成制度の制定等を含め、強く要望活動を行っている。



愛野町千鳥川

## 市道の新設改良と同時進行で上下水道の併設を

**柴田議員** 愛野地域で市道の新設改良工事が行われている。同時進行で補助事業や特例債等を利用して上下水道を併設し、人口増や税増収につなげる考えはないか。

**今崎上下水道局長** 市全体を考慮した総合整備計画と整合する路線、管路

以外は、国庫補助事業と一体となった整備はできないものと考ええる。農業集落排水事業完了後の区域外からの排水管等の接続はできないため、浄化槽整備事業で推進をはかっている。  
合併特例債については、先行投資的事業は対象とならない。

## 国道と周辺市道の改良を

**柴田議員** 地域高規格道路のインターチェンジが愛野宮添地区に決定したが、接続する国道251号と周辺市道を改良すべきではないか。

**島田建設整備部長** 現在、インターチェンジ付近で一本松農道整備事業を行っているが、島原道路の計画に沿った最良の事業となるよう努力したい。

## 道の駅を設置する考えは

**柴田議員** 地域連携型の道の駅を雲仙市内に設置して、地産地消の推進と雲仙ブランドの販売促進、観光客の増加をはかる考えはないか。

**奥村市長** 情報発信基地として、道の駅と同様な機能を有する施設を設置できる場所を検討し、地産地消の推進、雲仙ブランドの促進、観光客の増加をはかっている。

## 学校給食について

**柴田議員** ①南部給食センターが完成し、市内全域での給食が可能になったが、食材の地産地消をどのように考えているか。  
②児童生徒に対する、食育の指導は。  
③食材の納入方法は。  
④給食費の納入方法は。

**鈴山教育長** 新鮮で安全、安心な地元食材を使用し、地産地消の推進に努めている。

各学校では、食に関する指導を教育活動全体を通して計画的に実施している。  
食材は、牛乳やパン等は長崎県学校給食会から、米や豆腐などは、月交代か複数月交代で、その他は雲仙市内外から選定した業者から納入してもらっている。  
給食費は、ほとんど口座振替で納入してもらっている。

## 農業行政について

**柴田議員** ①全国和牛共進会を、島原半島の3市が連携して誘致する考えはないか。  
②市内から入賞牛が出るよう、推進する考えは。  
③農業施設（ビニールハウス）に課税されているが減免措置はできないか。

ての誘致は難しい。  
補助事業を活用し市内から多くの出品と入賞牛が出るよう関係各機関と連携して取り組みたい。

**奥村市長** 現在、県内では雲仙市をはじめ6市12カ所が候補地として手をあげている。現段階では島原半島の3市が連携し

**井上民生生活部長** 税の減免は、納税者が特別な事情に該当しない限り税の公平性の点から困難である。



# 議会広報編集特別委員会視察研修

5月14・15日、広報委員会は議会だよりの編集、発行に関する調査研修のため、佐賀県嬉野市議会・福岡県福津市議会を訪問し研修しました。

## 【嬉野市】

旧嬉野町は「議会だより」全国コンクールで2位を受賞するなど、レベルが高いことで有名だったが、塩田町との合併により「議会だより」に対する議員間の認識の違いがあり、発行までに少し時間がかかったようだ。

現在の委員はほとんど初めての人ばかりだそうだが、経験者の指導助言を受けながら、過去の実績に見合った立派なものが発行されている。

細かい作業上のテクニックもさることながら、「中学生でも読める広報誌」を目指すという信念をもって、編集されていることに、「議会だより」に対する意識の高さを感じた。

## 【福津市】

合併前の2町とも「議会だより」を発行していたので、発行に対する異論はなかったが、経験者が少なく、試行錯誤しながら、長い時



間をかけて編集作業をし、発行しているとのことだった。

印刷については、地元 of 社会福祉法人の印刷業者に発注しているとのことだが、行政・議会・市民が納得した上でのことで、地域性によるものだと思われる。

## 【共通】

両市とも「議会だより」が重要だ、という意識が高く、編集・写真収集・原稿収集など、委員が協力し、時間をかけて作り上げている広報誌であることがわかる。

我々も、広報の意義を深く理解し、読みやすくわかりやすい広報誌作りを心掛けなければならないと思った。

## 韓国求礼郡を訪問

雲仙市と韓国求礼郡との姉妹結縁締結により、議会としての答礼のため6月25日から28日まで求礼郡を中心に訪問した。

日本と韓国の、国立公園指定第1号という共通項を軸に結ばれた縁であったが、訪問してわかったことは、自然豊かで人情深いということであった。

先方の議長主催晩餐、郡守主催晩餐をはじめとして、郡庁舎訪問の折には、郡幹部はもとより職員総出の歓迎には感激した。

行政視察面では、農業技術センターや特産のきゅうりを中心とした野菜研究試験場、公設運動場、総合社会福祉館の視察、きゅうり栽培のハウス農家の視察など目白押しだった。

最終日には、ソウルの日本自治体国際化協会、先日紹介した「ハナ会」の表敬訪問も終え、全員無事帰国した。

言葉に関しては、通訳や、現地ガイドの流暢な日本語で何とか過ごすことができたが、通貨の換算は少しの思慮の時間が必要な場面もあった。

## 「智異山」登山の折

感じたことだが、韓国の国立公園は、厳格な管理が行われていた。タバコ、ごみ、歩道に至る管理も専門職の監視があり国策の違いを感じた。

求礼郡は今、大きな開発と発展の途上にあるようで、そ菜の



## ◆議員報酬についての質問にお答えします。

議員報酬の月額及び差し引かれる額の内訳は次のようになっています。

(単位：円)

| 報酬月額    | 共済会掛金  | 所得税    | 議員互助会  | 支出計     | 差引支給額   |
|---------|--------|--------|--------|---------|---------|
| 344,000 | 49,300 | 50,500 | 10,000 | 109,800 | 234,200 |

※詳しくは議会事務局または各議員までお問い合わせください。

## ◆政務調査費(18年度)実績報告

## ・政務調査費とは？

議員の調査研究に必要な経費の一部として、会派または議員に対して交付されるお金です。

雲仙市では、一人当たり月額15,000円(年額18万円)が支給されます。

○補助金申請額：180,000円×30名=5,400,000円

| 内 訳    | 金 額        |
|--------|------------|
| 補助金交付額 | 5,400,000円 |
| 補助金返還額 | 1,374,974円 |
| 補助金実績額 | 4,025,026円 |



(返還額内訳)

- 全額返還：6名、1,080,000円
- 一部返還：6名、294,974円

## ○実績額集計結果(全員の合計額)

(単位：円)

| 科 目    | 金 額       | 内 容                                       |
|--------|-----------|-------------------------------------------|
| 研究研修費  | 214,068   | 研究会もしくは研修会に議員が参加するため要する経費                 |
| 調査旅費   | 1,709,248 | 調査研究するために行う先進地調査に要する経費                    |
| 資料作成費  | 76,287    | 調査研究の活動のために必要な資料の作成に要する経費                 |
| 資料購入費  | 1,112,107 | 調査研究の活動のために必要な資料の購入に要する経費                 |
| 広報費    | 111,622   | 調査研究の活動若しくは市の政策について市民に報告し、または周知するために要する経費 |
| 広聴費    | 4,814     | 市政に関し市民から意見を聴くための会議、会合等に要する経費             |
| 人件費    | 0         | 調査研究の活動を補助する者を雇用するために要する経費                |
| 事務所費   | 556,236   | 調査研究の活動のために必要な事務所の設置及び管理に要する経費            |
| その他の経費 | 719,547   | 全各項に掲げる経費以外の経費                            |
| 合 計    | 4,503,929 |                                           |

【注意】補助金実績額(4,025,026円)と実績額集計結果の合計(4,503,929円)が合わないのは議員一人当たり18万円で打ち切りとなるため実績額集計が多くなっております。

## 編・集・後・記

某大臣の発言により「原爆」が大きくクローズアップされました。投下から62年経ちますが、長崎県民はもとより、日本国民全体にとつて、この問題がいかに大きな意味を持つのか痛感させられました。

このたび雲仙市議会の代表が韓国・求礼郡を訪問(19頁)し交流も始まりましたが、考えてみれば被爆者は日本だけでなく、韓国や中国などにもおられるのです。もしかしたら求礼郡にもおられるかも知れません。(「原爆発言」の前には考えていませんでしたが…)

## 議会広報編集特別委員会

◎増山良三  
◎森山繁一  
◎佐藤靖弘  
◎吉田文昭  
◎原田美和子  
◎上田洋文  
◎進藤一廣



求礼郡との交流を大きく発展させるためには、直接話題にのせないにしても、「原爆・戦争など」についての正確な認識が必要ではないでしょうか。

この夏、一議員としても、暑さに負けずしっかりと勉強したいものです。(A・U)